

病棟・外来から始める リンパ浮腫予防指導

編著 増島麻里子

定価 2835 円(本体 2700 円＋税 5%)
医学書院



看護師はリンパ浮腫ケアの 最も適したセラピスト

リンパ浮腫のケアは、今ではがん看護の重要な位置づけになっている。多くの参考図書も出版され、臨床においてケアの知識・技術も広まってきている。また、看護師のなかにも、リンパドレナージ、圧迫療法の手技を身につけ資格を取っている人も増えてきている。しかし、その資格をとるための養成機関が限られていることもあり、希望する看護師は多いが、学びにくい状況もある。

患者に毎日関わっている看護師にとって重要なことは、その資格の有無にかかわらず、患者の病態からリンパ浮腫が発症する可能性を含めて、リンパ浮腫のアセスメントができることである。そのためには、リンパ浮腫についての知識を習得していることが必要

である。基礎的な知識を習得したうえで、臨床場面で多くの経験を積み、浮腫の鑑別が可能になる。

リンパ浮腫に対するケアは、病態の進行を予測・予防し、さらに早期に発見することが、重症化を防ぐことにつながる。リンパ浮腫に対する用手ドレナージや、圧迫療法、運動療法などについては、多職種のセラピストが行なっているが、患者の病状や既往歴などについての知識を十分理解して行なうことが必要であり、看護師は最も適したセラピストといえるだろう。

看護師だけでなく、 患者・家族の参考に

この書籍は、第1部に Q&A があり、第2部から第1部の回答の根拠を示すべくリンパ浮腫についての知識・技術に関する内容が書かれている。したがって、疑問がある人にとっては、疑

問に対する回答も、第2部以後を読むことで根拠が理解でき、日常生活での対処もわかりやすい。

また、文献を十分活用し、信頼性のある根拠を示してある。適切なイラストや図表があり、より理解しやすく書かれている。特にがん治療とリンパ浮腫の関係についての項は、治療後のリンパ浮腫を予防するための生活上の注意を知るうえでも必要な知識である。

リンパ浮腫のケアに関する知識・技術は、看護基礎教育ではほとんど行なわれていない。これは、抗がん剤による化学療法看護、がん性疼痛看護、緩和ケアに関する知識・技術と同様に卒後教育において行なう内容である。その教育において、この書籍は、看護師に必要な内容が盛り込まれ、非常に有効な参考図書である。

また、患者にとっても十分理解できる内容であると思われる。それに「です、ます調」で書かれているので、患者には親しみやすい。多くの看護師、患者が参考にし、リンパ浮腫の悪化が予防でき、ケアの質が向上することを願っている。

国立がん研究センター中央病院においても、この書を“つきじプラザ”という患者が利用する場所の図書コーナーにおいて、多くの患者・家族の参考にさせていただくつもりである。

根拠のあるケアをわかりやすく示した リンパ浮腫の卒後教育に最適なテキスト

〔評者〕 丸口ミサエ 独立行政法人国立がん研究センター中央病院 看護部長